

県内小学生のスタディ・ログの活用により、 一人一人にとって最適で自立的な学習の機会を提供し、 全ての児童が学ぶ意義や楽しさを実感する教育の実現



岐阜県教育委員会事務局
学校支援課



1 取組概要

2つの県内統一システム(学習系システム・校務系システム)を活用、のべ22万人の学習履歴を分析することで、**誰が何をどう学習するのか**、教員の日常的な見取りとエビデンスに基づいた**意思決定モデル**の確立

取組：AIによる教育データ活用



週案機能
実践例登録機能



GIFU Webラーニング

個別最適化された問題

EdLog

授業
デザイン

実践

AI学習
習得予測

日常的な
見取

成績ダッシュボード



2 めざす学校像

県内小学生のスタディ・ログの利活用により、
一人一人にとって最適で自立的な学習の機会を提供し、**全ての児童が学ぶ意義や楽しさを実感**する教育の実現

職員室

AI活用に基づく「教員の経験と日常的な見取」と「意思決定モデル」によるEBPMの実現

〇〇の間違った方をしている児童が多い。
今日の授業で〇〇を確かめよう。



〇〇さんは進んで学習できるようになった。下学年の復習をしているところを見よう。

レディネステストの結果等のレコメンドから
〇〇の復習が必要だ。

■ つまづきに応じた授業改善

- ・ 学習系システムと、校務系システムに蓄積された各単元テスト素点データの定着度を基にしたレコメンド
- ・ 各種レコメンドを基にした翌週の授業計画(週案)の作成
- ・ 家庭学習の状況把握
- ・ 個人カルテや懇親会等でのデータ活用(学習状況や誤答傾向等を表示、個に応じた認め、励まし)

■ 授業準備等、業務の効率化・軽減

- ・ プログラミング教材や多言語対応
 - ・ 学習コンテンツ等とのリンク
- #### ■ 多様な指導内容や課題への対応

スタディ・ログの提供

教室 1

■ 主体的・協働的な学び



デジタル教科
デジタル教材
大型提示装置

■ 効果的・効率的な指導

学習系システム
共通問題

教室 2

■ 最適で自立的な学び



単元のまとめの
時間
帯時間
自習時間
昼休みや放課後
の自主学习

学習系システム
個別の習熟問題、発展問題

相談室 (別室)

■ 学習機会の確保・学び直し



不登校傾向児童
外国人児童
・ 多言語対応
・ 音声教材

学習系システム
学習単元、既習単元

家庭、放課後児童クラブ、 教育支援センター

■ いつでも、どこでも学習 できる環境



学習系システム
共通の宿題
一人一人異なる宿題
自主的な学習：復習・予習

3 実証取組 (1) 校務系システム ① 概要

1年目
令和元年度
分析するための
準備

2年目
令和2年度
分析した結果を
提示

3年目
令和3年度
結果を効果的に
活用するには

利用データ	<p>統一IDのルール作り 学習系システムと校務系システム 双方が持つ学習者用IDを統一化 入学年度+学校CD+通番</p>	<p>学習系システムログ利用 多くのログ蓄積のため 学習系システムの積極利用を推進 量>質でログ収集</p>	<p>両システムのログ利用 特定学年・教科・単元において ログ蓄積を戦略的に実施 量と質のバランスを考慮</p>
分析手法	—	<p>教師あり学習 単元系統表を教師データとし 実データとの関連性を導き出す 単元系統表に基づく評価</p>	<p>教師なし学習 複数のパラメータを利用し 多角的な視点で分析 固定概念外の新しい発見へ</p>
成果物	<p>学習系システムログ表示 学習系システムのスタディ・ログを 校務系システム上で分かりやすく表示 ログの簡易評価も実施</p>	<p>ダッシュボードで可視化 AI分析結果をレコメンドで表示 つまずきの予測を示す 指導実践例の作成へ活用</p>	<p>学習の推移をグラフ化 クラス/個人の正答率等を折れ線で示し AIによる未来予測と一体化 先生が見たくなるデータ提供</p>
利用データ	<p>統一のデータ分析のため 両システムをつなぐ 共通ルールが必要 10桁の「関係用ID」で 採番し紐づけ 入学年度西暦下2桁+学校CD5桁+学 年通番3桁</p> 	<p>多くのログの取得のため 学習系システムの 積極的な利用を周知 4つの指標のログにつき 全てをデータ抽出 3カ年分：約315,000件</p> 	<p>学年・教科・単元等を特定 趣旨も含めて周知 ログの量と質を重視 特定範囲の5つの指標の ログを抽出 5年児童298名・算数・6単元分</p> 

3 実証取組 (1) 校務系システム ②分析手法

1年目
令和元年度
分析するための
準備

2年目
令和2年度
分析した結果を
提示

3年目
令和3年度
結果を効果的に
活用するには

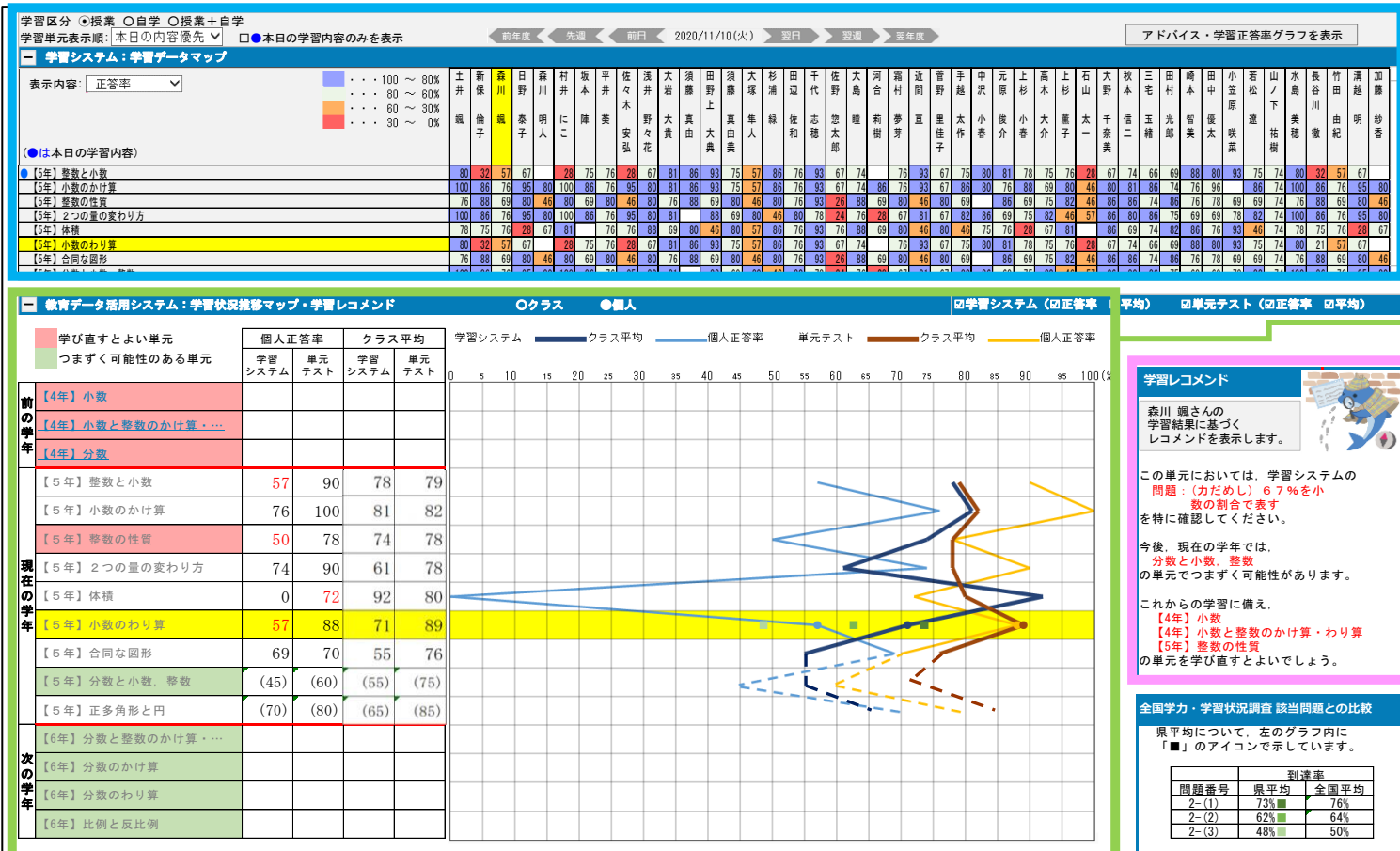
<p>—</p>	<p>教師あり学習 単元系統表を教師データとし 実データとの関連性を導き出す 単元系統表に基づく評価</p>	<p>教師なし学習 複数のパラメータを利用し 多角的な視点で分析 固定概念外の新しい発見へ</p>
<p>学習系システムの情報を 校務系システムにおいて 合わせて表示</p>	<p>学習系システムの4指標利用で 単元間の関連性を検証</p> <p>問題数・正答数・正答率・学習時間</p> <div data-bbox="774 961 1155 1153"> <p>学習系 教科学習Webシステム 問題数 正答数 正答率 学習時間</p> </div> <p>単元系統表に基づき評価 分析の正当性を確認</p>	<p>校務系システムのログを付加 システム間でクロス分析</p> <p>問題数・正答数・正答率・学習時間 単元テスト得点(正答率)</p> <div data-bbox="1304 961 1875 1153"> <p>学習系 教科学習Webシステム 問題数 正答数 正答率 学習時間</p> <p>校務系 Te-Comp@ss 単元テスト正答率</p> </div> <p>複数回取得したログを比較 予測寄与率等も考慮反映</p>

AI分析結果を学習推移マップへ落とし込み一体化 内容に応じて直感的に理解しやすい表示に

3年目

令和3年度

令和2年度開発した校務系システムのダッシュボードを改良、文字とグラフで役割分け
推移や傾向はグラフで直感的に、詳細内容はレコメンド文章で把握できるよう整理



【ヒートマップ】
学習系システムの
スタディ・ログ

【折れ線グラフ】
学習系システムと
校務系システムの
スタディ・ログを
単元ごとにグラフ化

AI分析からの予測も
点線で一体的に表示

学習レコメンド

森川 楓さんの
学習結果に基づき
レコメンドを表示します。

この単元においては、学習システムの
問題：(かだめし) 6.7%を小
数の割合で表す
を特に確認してください。

今後、現在の学年では、
分数と小数、整数
の単元でつまずく可能性があります。

これからの学習に備え、
【4年】 小数
【4年】 小数と整数のかけ算・わり算
【5年】 整数の性質
の単元を学び直すといでしょう。

【文章(テキスト)】
AI分析された結果を
個人・クラスごとに
ポイントとして
具体的に明示

全国学力・学習状況調査 該当問題との比較

県平均について、左のグラフ内に
「■」のアイコンで示しています。

問題番号	到達率	
	県平均	全国平均
2-(1)	73% ■	76%
2-(2)	62% ■	64%
2-(3)	48% ■	50%

3 実証取組 (1) 校務系システム ③事例

欠損事例・実態に応じた考慮で、データ精度を担保

学習者の特性や現場のシステム利用・登録等、現場で起こり得る様々な事例で、意図しない欠損が発生
欠損する原因や内容に応じて丁寧に精査し、個別に判断していくことが必要

《実証校でのデータ蓄積例》

縦(列)：単元データ / 横(行)：児童

17	001																				
17	002																				
17	003																				
17	004																				
17	005																				
17	006																				
17	007																				
17	008																				
17	009																				
17	010																				
17	011																				
17	012																				
17	013																				
17	014																				
17	015																				
17	016																				
17	017																				
17	018																				
17	019																				
17	020																				
17	021																				
17	022																				
17	023																				
17	024																				
17	025																				
17	026																				
17	027																				
17	028																				
17	029																				
17	030																				
17	031																				
17	032																				
17	033																				
17	034																				
17	035																				
17	036																				
17	037																				
17	038																				
17	039																				
17	040																				
17	041																				
17	042																				
17	043																				
17	044																				
17	045																				
17	046																				
17	047																				
17	048																				
17	049																				
17	050																				
17	051																				
17	052																				
17	053																				
17	054																				
17	055																				
	たしかめよう																				
	体積																				
	合同な図形																				
	図形の角の大きさ																				
	小数のかけ算																				
	小数のわり算																				
	整数と小数																				
	2つの量の変わり方																				
	分数と小数、整数																				
	分数のたし算とひき算																				
	割合																				
	単位量あたりの大きさ																				
	帯グラフと円グラフ																				
	平均																				
	整数の性質																				
	正多角形と円																				

ID「17...005」の児童は**全データが欠損**

特別支援の児童のため、システムの利用・単元テストへの得点登録が**全くされていない**

分析精度上では適宜の除外も必要



一部の単元では**データが部分的に欠損**

2つのクラスのうち、片方のクラスでは授業進度により、**取得時点で学習未実施**

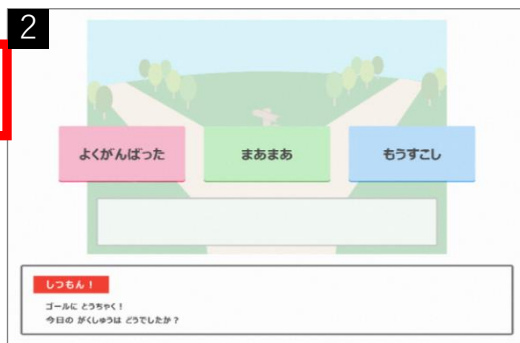
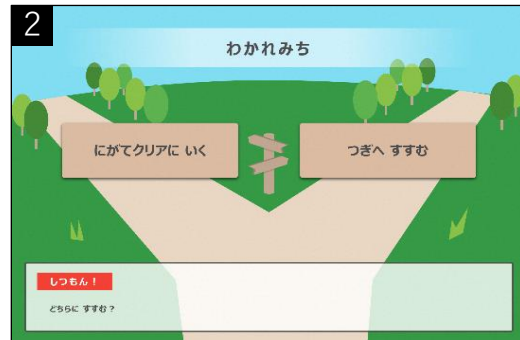
データ取得タイミング・頻度の周知

令和3年度はピンポイントにデータを収集し、負担のない現場周知を行うことで、分析に利用可能なデータが増加

3 実証取組 (2) 学習系システム ① 概要

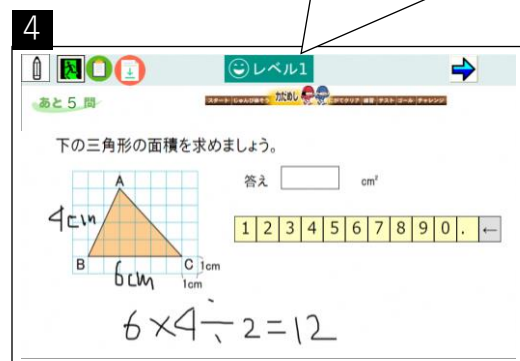
児童画面改訂

- 1 前回の学習内容に基づく学習アドバイスや、「おすすめ」教材、「よくみつけたまちがい」の補充コース「にがてクリア」の提示
- 2 「学び直し」の自己選択、自己の学習の振り返り入力
- 3 県平均正答率に基づいた5段階難易度表示
- 4 「手書き機能」「画面コピー機能」を追加
- 5 児童個人の学習状況確認ページ一覧表示



3 【県平均正答率】

レベル3	40 ~ 60%
レベル1	80 ~ 100%
レベル4	20 ~ 40%
レベル2	60 ~ 80%
レベル5	0 ~ 20%



1

どのつかいかたをしますか?

直前の学習結果に基づく個別アドバイスを表示

直前の学習結果に関連する個別おすすめ教材を表示

5 私の学習状況

レディネステスト

きょうのもんだい

たんげん れんしゅう 単元まとめの練習

もんだい いんさつ プリント問題印刷

チャレンジ問題

まへの学習 11月27日(金) 算数 たんげんまとめ練習
5年 四角形と三角形の面積
11問中10問正解
さいごまで学習しましょう。「平行四辺形の底辺が5cm、高さが3cm、もう一辺の長さが4cmのとき、面積を5×4のように求めてみよう」まちがいが2回ありました
...つづきをよむ

おすすめ
たんげんまとめ練習 四角形と三角形の面積
レディネステスト 4年 面積
いままでみつけたまちがい
平行四辺形の底辺が5cm、高さが3cm、もう一辺の長さが4cmのとき、面積を5×4のように求めてみよう

つつきをする ひらく

にがてクリア

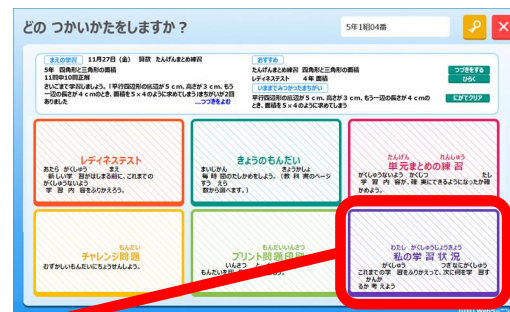
GIFU Webラーニング



3 実証取組 (2) 学習系システム ① 概要

児童画面改訂

- 1 前回の学習内容に基づく学習アドバイスや、「おすすめ」教材、「よくみつけたまちがい」の補充コース「にがてクリア」の提示
- 2 「学び直し」の自己選択、自己の学習の振り返り入力
- 3 県平均正答率に基づいた5段階難易度表示
- 4 「手書き機能」「画面コピー機能」を追加
- 5 児童個人の学習状況確認ページ一覧表示



5

私の学習状況 どの単元ですか? 5年1組01番

マスをクリックすると、学習（かくしゅう）した結果（けっか）がでてくるよ。
 ● : とくに見なおしてほしいところ ● : さいごまでがんばって、すべてせいがい Ⓞ : できなかった問題（もんだい）がある

	レディネステスト	きょうのもんだい	おすすめ 単元まとめ練習	チャレンジ問題
1年生				
2年生				
3年生				
4年生				
5年生				
6年生				

5年 小数のかけ算 単元まとめ練習

よくみつけたまちがい

- $7.2 \times 9.3 = 6.96$ のように答えてしまう 2回
- $0.3 \times 2.6 = 7.8$ のように答えてしまう 1回
- $2.3 \times 3.4 = 6.82$ のように答えてしまう 1回

マークがあるマスをクリックすると、こたえた問題をふりがえることができるよ。
 力だめし

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

テスト

1 2 3 4 5

GIFU Webラーニング

⚙️ 全ての問題を回答したことがあり、各問題の最終解答が正答の場合

Ⓞ 全ての問題を回答したことがあり、最終解答の正答率は60%未満、又は、最新の学習回数で、同じ誤答パターンの誤答が3回以上あった場合

Ⓞ 最終回答正答できなかった問題がある場合

3 実証取組 (2) 学習系システム ① 概要

教員画面改訂

児童の「きょうのもんだい」のリアルタイム把握画面の表示改訂

<リアルタイム把握画面>
「全時間を表示」とした場合。時間を指定した場合は、指定した時間の問題のみ表示

5年 整数と小数

番号	名前	第1時_位の変わり方							第2時_整数と小数のしくみ					
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
		0	0	0	0	0	0	0	6	4	2	2	4	6
		2	4	2	6	2	4	4						
		1	8	0	6	7	6							
		.	9	.	4	1	.	3						
		3	.	1	.	.	3							
		9	3	は	8	9	の	1						
		5	の	0	×	の	1	0						
		1	0	0	0	0	0	0						
		0	0	0	0	0	分	分						
		倍	倍	1	0	の	の	の						
		の	の	の	の	1	1							
1	5年1組01番	○	○	◆	○	○	○	○						
2	5年1組02番													
3	5年1組03番													
4	5年1組04番													
5	5年1組05番	○	○	?										
6	5年1組06番													
7	5年1組07番													
8	5年1組08番													
9	5年1組09番													
10	5年1組10番													

問題・正答のサムネイル表示。
学習者のマークの場合は、学習者の回答内容も表示する。

71.9の $\frac{1}{10}$ の数を求めましょう。
挿入

学習者の試行結果をマークで表示する。
○：正解
◆：クリア
?：誤答

自学の履歴である場合には背景色がグリーンになる。授業は白色（通常色）。

3年生 12：(ショートコース) 長さ 旭ヶ丘小学校 3年1組

番号	名前	問題	問題のポイント	正答	正解率	クリア率	誤答率	試行回数	正解回数	クリア回数	誤答回数
1	5年1組01番	2m	100.0	98.26	1.74	1	1	1	0
2	5年1組02番	4m	92.3	98.81	▲1.19	1	1	1	0
3	5年1組03番	5m	100.0	98.80	1.20	1	1	1	0
4	5年1組04番	3m00cm	100.0	94.85	15.15	1	1	1	0
5	5年1組05番	4m25cm	100.0	94.41	5.59	1	1	1	0
6	5年1組06番	4m82cm	92.3	91.88	10.42	1	1	1	0
7	5年1組07番	1m400mより短い。	1000mを超える長さも、何km何m何cmで表すことができる	1000m	100.0	96.45	3.55	1	1	1	0
8	5年1組08番	3000mより長い。	1000mを超える長さも、何km何m何cmで表すことができる	3km	94.4	93.93	▲1.53	1	1	1	0
9	5年1組09番	4m237mより短い。	k何m何cmで表すことができる	4237m	94.7	96.88	▲2.19	1	1	1	0
10	5年1組10番	5481mより長い。	1000mを超える長さも、何km何m何cmで表すことができる	5km481m	100.0	98.94	1.06	1	1	1	0
11	5年1組11番	7m40mより短い。	k何m何cmで表すことができる	7000m	88.9	92.47	▲1.51	1	1	1	0
12	5年1組12番	8m74mより短い。	k何m何cmで表すことができる	8074m	77.8	82.61	▲1.61	1	1	1	0

3 実証取組 (3) 「校務系システム × 学習系システム」実践と成果

(1) 教員のデータ利活用実践

学習系システムのリアルタイム把握機能、校務系システムのAIレコメンドを組み合わせ、学級及び個々のデータを基に、計画立案、指導改善、個別支援に生かす。

単元の導入時

- ・「レディネステスト」に取り組みせ、学習系システムで各学級児童の既習事項の理解度を確認する。（単位時間導入時に再確認・職員室でデータの見方の検討等）

各単位時間の終末時

- ・教科書の評価問題の前又は後に、「きょうのもんだい」に取り組みせる。
- ・校務系システムで学習状況を把握する。詳細を把握する場合は、学習系システムで確認し、次時以降の計画立案、指導改善、個別支援に生かす。

単元の最終時

- ・教科書の評価問題が終わった児童から「単元のまとめ練習」に取り組みせる。
- ・早く終わった児童には、「単元のかだめし」「チャレンジ問題」に取り組みせる。
- ・教員は、学習系システムのリアルタイム表示にアクセスして、個々の学習状況・到達度を把握し、個別支援に生かす。

個別懇談等時

- ・学習系システムの各単元における、各自の素点が県のデータと比較して出力できるデータ（単元分析表）の個票の提示。

実践例①

第5学年「分数のたし算とひき算」

- レディネステストの校務系システムのAIレコメンドで、
**「帯分数を仮分数にするときにミスがある。
分母はいいが分子を間違えてしまう。」**と表示されていたため、それを参考に**帯分数を仮分数にする演習を行った**。その結果、単元のなかで、帯分数を仮分数になおして計算する場面があるが、**ほとんどの児童が正答し、その場面ですまずくことがなくなった**。



実践例②

第4学年「がい数」

- 校務系システムのAIレコメンドで、
「『～の位で四捨五入する』場合に、四捨五入をする位を間違えてしまう人が5人いました。」と表示されていたため、それを参考に**「～の位で」と「～の位まで」の違いを指導したところ、児童の理解が深まった**。

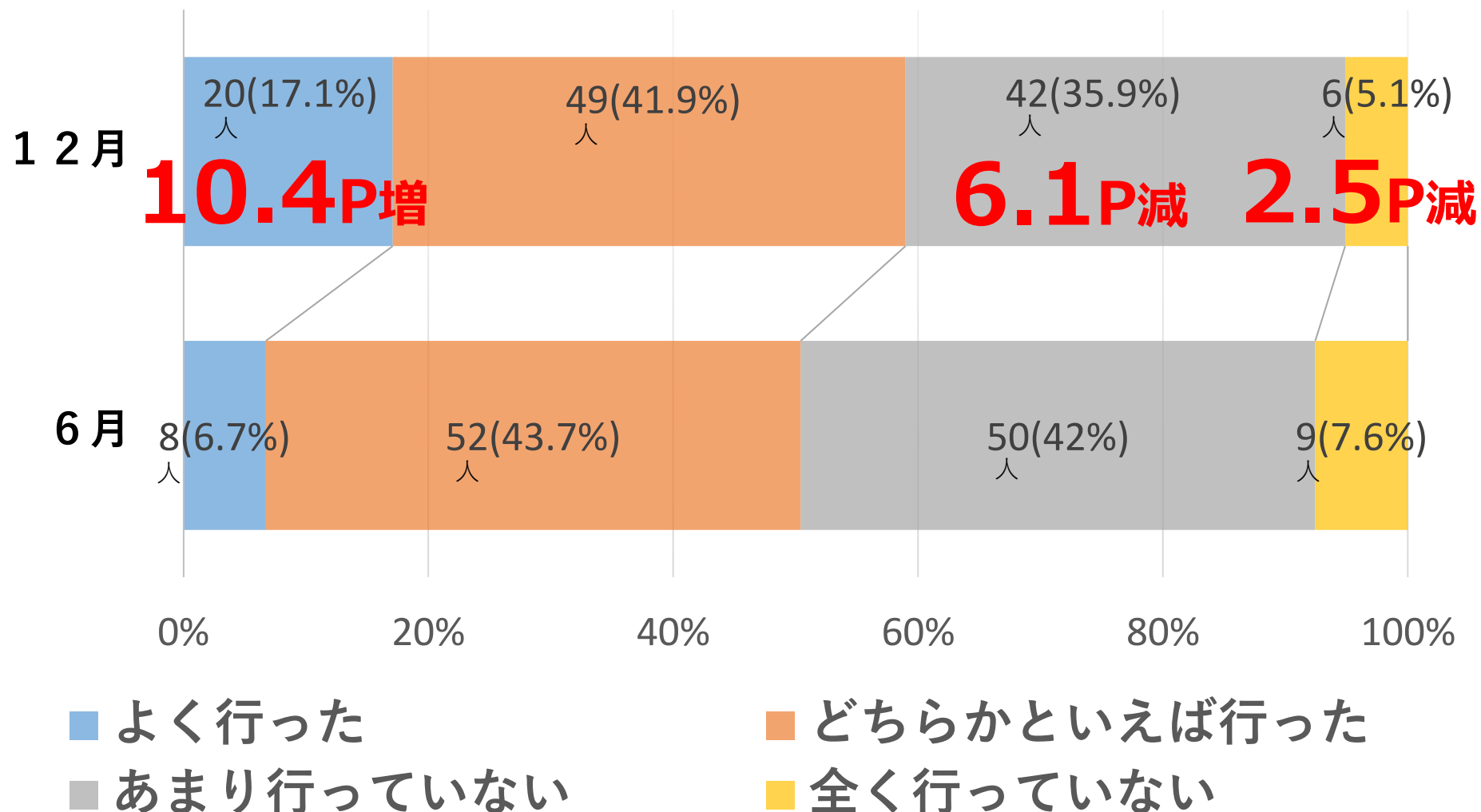


3 実証取組 (3) 「校務系システム × 学習系システム」 実践と成果

■ 教員の意識調査

(6月：119人、12月：117人)

Q.授業の前に、児童の実態を客観的なデータに基づき把握したり、それを踏まえて、本時身に付けるべき内容を明確にしたりしていますか。



(2) 児童のデータ活用実践

実践例③

全学年「学習アドバイスの確認、学習取組の確認のための一覧表の活用」

- 児童が学習前に学習系システムのトップ画面の学習アドバイスを確認し、自分の学習に役立てようという意識が高まりつつある。**学習アドバイスに表示された「自分へのおすすめ」に取り組む姿**も見られるようになってきた。



3 実証取組 (3) 「校務系システム × 学習系システム」 実践と成果

(2) 児童のデータ活用実践

実践例③

全学年：「単元末における児童の取組状況の活用」

- 単元末に「単元まとめの問題」に取り組んだ後や、テストを返却後に、本単元の基礎である、「きょうのもんだい」の取組状況を再確認することで、**自分の間違いに納得して、学び直しを進める**児童が増えてきた。

おつ入習生取組表 全学年/4年生/5年生/6年生/7年生/8年生/9年生

○：正解 ◆：誤解から正解になった ♪：誤解 ■：自学の回答

学年	氏名	1単元目 P150	2単元目 P157	3単元目 P158
5年	田中 太郎	001 田中太郎 P150	002 田中太郎 P157	003 田中太郎 P158
5年	山田 花子	004 山田花子 P150	005 山田花子 P157	006 山田花子 P158
5年	佐藤 健一	007 佐藤健一 P150	008 佐藤健一 P157	009 佐藤健一 P158
5年	鈴木 美咲	010 鈴木美咲 P150	011 鈴木美咲 P157	012 鈴木美咲 P158
5年	高橋 誠二	013 高橋誠二 P150	014 高橋誠二 P157	015 高橋誠二 P158
5年	渡辺 真由	016 渡辺真由 P150	017 渡辺真由 P157	018 渡辺真由 P158
5年	中村 大輔	019 中村大輔 P150	020 中村大輔 P157	021 中村大輔 P158
5年	小林 莉子	022 小林莉子 P150	023 小林莉子 P157	024 小林莉子 P158
5年	加藤 拓也	025 加藤拓也 P150	026 加藤拓也 P157	027 加藤拓也 P158
5年	伊藤 千尋	028 伊藤千尋 P150	029 伊藤千尋 P157	030 伊藤千尋 P158
5年	松本 悠太	031 松本悠太 P150	032 松本悠太 P157	033 松本悠太 P158
5年	斎藤 結衣	034 斎藤結衣 P150	035 斎藤結衣 P157	036 斎藤結衣 P158
5年	清水 翔太	037 清水翔太 P150	038 清水翔太 P157	039 清水翔太 P158
5年	山崎 愛理	040 山崎愛理 P150	041 山崎愛理 P157	042 山崎愛理 P158
5年	田村 直樹	043 田村直樹 P150	044 田村直樹 P157	045 田村直樹 P158
5年	山口 舞	046 山口舞 P150	047 山口舞 P157	048 山口舞 P158
5年	北川 悠斗	049 北川悠斗 P150	050 北川悠斗 P157	051 北川悠斗 P158
5年	吉岡 結実	052 吉岡結実 P150	053 吉岡結実 P157	054 吉岡結実 P158
5年	石川 大空	055 石川大空 P150	056 石川大空 P157	057 石川大空 P158
5年	長谷川 莉奈	058 長谷川莉奈 P150	059 長谷川莉奈 P157	060 長谷川莉奈 P158
5年	藤原 拓海	061 藤原拓海 P150	062 藤原拓海 P157	063 藤原拓海 P158
5年	森田 真由美	064 森田真由美 P150	065 森田真由美 P157	066 森田真由美 P158
5年	高木 悠希	067 高木悠希 P150	068 高木悠希 P157	069 高木悠希 P158
5年	斎藤 結衣	070 斎藤結衣 P150	071 斎藤結衣 P157	072 斎藤結衣 P158
5年	清水 翔太	073 清水翔太 P150	074 清水翔太 P157	075 清水翔太 P158
5年	山崎 愛理	076 山崎愛理 P150	077 山崎愛理 P157	078 山崎愛理 P158
5年	田村 直樹	079 田村直樹 P150	080 田村直樹 P157	081 田村直樹 P158
5年	山口 舞	082 山口舞 P150	083 山口舞 P157	084 山口舞 P158
5年	北川 悠斗	085 北川悠斗 P150	086 北川悠斗 P157	087 北川悠斗 P158
5年	吉岡 結実	088 吉岡結実 P150	089 吉岡結実 P157	090 吉岡結実 P158
5年	石川 大空	091 石川大空 P150	092 石川大空 P157	093 石川大空 P158
5年	長谷川 莉奈	094 長谷川莉奈 P150	095 長谷川莉奈 P157	096 長谷川莉奈 P158
5年	藤原 拓海	097 藤原拓海 P150	098 藤原拓海 P157	099 藤原拓海 P158
5年	森田 真由美	100 森田真由美 P150	101 森田真由美 P157	102 森田真由美 P158

※写真の児童は、できなかつた問題に意欲的に取り組み、配布された表に◎などのチェックを書き入れている。

(2) 児童のデータ利活用実践

その他

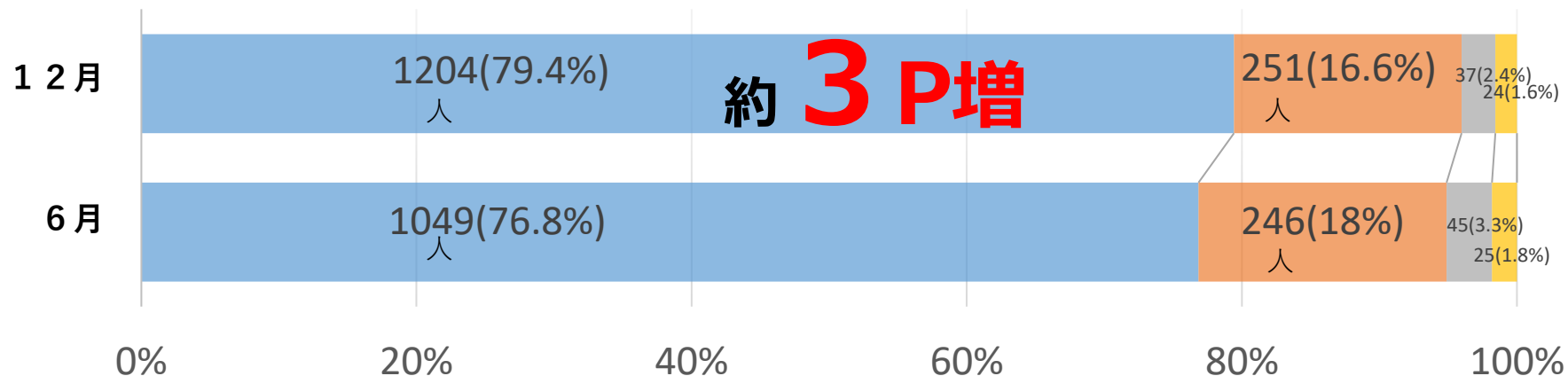
- 算数の授業で学習系システムを活用するようになったことで、授業の終末での**児童の学習に向かう姿勢・意欲が高まってきている**。
- 全員必須の「きょうのもんだい」や「単元のまとめ練習」を終えた後に、「チャレンジ問題」や「単元の花だめし問題」に取り組むことを目標にして取り組む姿が多く見られる。
- 学力が中～上位の児童にとっては、**自分の理解度に応じて飽きることなく習熟問題に取り組むことができ、主体的に学ぶ姿が多くなってきた**。
- 学力が低位の児童は、仮に問題を間違えたとしても、正答するまで根気よく取り組んだり、分からないことを教師や仲間に尋ねて、**自分に最適な学びを選択して、粘り強く解決したりする姿が見られるようになってきた**。
- 家庭学習で学習系システムを宿題にしたところ、多くの問題に取り組むことができたため、理解の定着度が増した。苦手クリア画面があることで、より深い学習内容の定着につながった児童もいた。

3 実証取組 (3) 「校務系システム × 学習系システム」 実践と成果

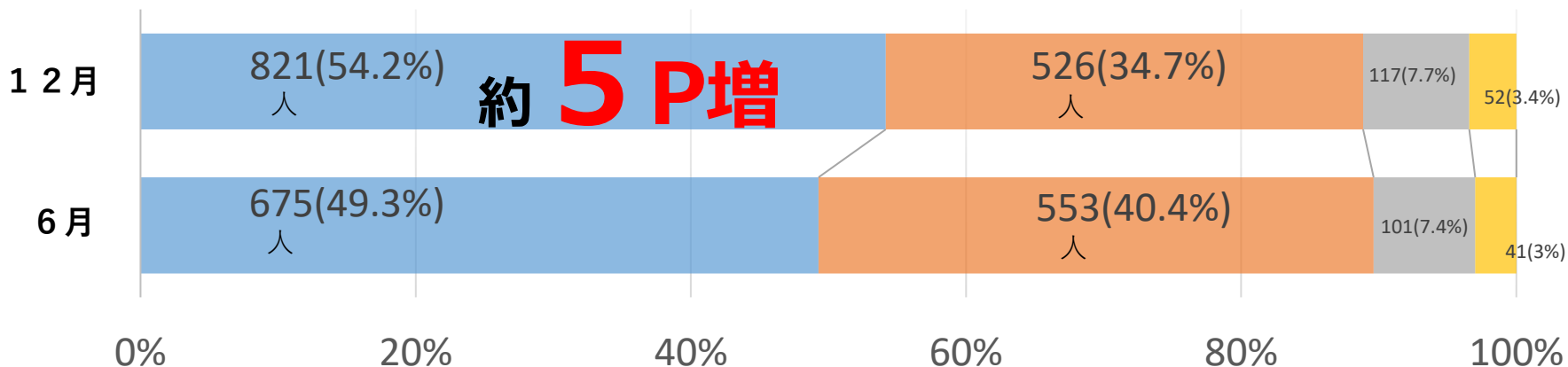
■ 児童の意識調査 (第3～6学年)

(6月: 1370人、12月: 1516人)

Q.算数の授業の内容はよく分かりますか。



Q.算数の勉強は大切だと思いますか。



■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば... ■ 当てはまらない

3年目

令和3年度

データの取捨選択や加工等の人的対応を省力化でき 計画に沿った蓄積を実現

事前に教育委員会等でデータ蓄積を行う単元等を指定、ピンポイントに焦点を当てることで欠損等の少ない適切なデータが蓄積、スムーズなサイクルでのデータ利活用が実現



3年目

令和3年度

従来の視点にない新たな気づきの確立を目指し 複数の指標を用いた多角的な分析を実施

戦略的なデータ蓄積により得られた両システムのデータをもとに、AIによる分析を実施
デジタルによる分析とアナログで得られる指導の経験知を組み合わせ、最適な指導の実現へ

システム

- 蓄積済のデータをAI分析
つまりき特定や未来の学習予測を実施
- 利用促進でビックデータ化
分析のさらなる向上へ

教育委員会

- システムが示すAI分析予測を
踏まえ、ベテラン教員等の
指導の経験知を反映
- 学校へ指導好事例を
積極発信・普及

学校にとって
有益で利用しやすい
教育データの利活用

学習者

- 自身の理解やつまずき状況に応じ
個別最適な学習を実現
- 適切なフォローで学ぶ意義や
楽しさを実感し主体的な学習へ

各学校

- システムが示すクラス・個人の予測
からエビデンスに基づく指導を
実践
- 委員会が示す指導の好事例に基づき
単元学習指導案を改善

データ利活用の「サイクルの定着」の重要性 — 蓄積・分析・表示し指導へ還元する流れをつくるために —

デジタルで得られるデータに基づくレコメンドと、アナログの学習指導の蓄積や経験値の双方を生かしデータ利活用のサイクルを確立することで、個別最適な指導の実現・EBPMの定着へとつなげていく



5 今後の展望

展望

- ① 「教育データ利活用推進協議会」の設置
- ② 「教育データ利活用推進校」による実践研究
- ③ 「教育データを有効に活用した実践」の普及促進

教育データの有効活用により
個別最適な学びを実現

<Ⅰ期：R4～5、Ⅱ期：R6～7、ⅢR8>



教育データ活用の現状と目指す方向性

教育データ活用の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・学習記録等を各教員が個人で保管しており、校内等で共有されていない。 ・GIFUウェブラーニングのスタディログが児童の学びに還元されていない。等
本事業で目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な教育データを有効に活用する仕組みを開発し、誰一人取り残すことのない個別最適な学びと協働的な学びを実現する。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の視点：学習履歴をもとに学習の最適化を図ることができる。 ・教員の視点：教育データを分析し、きめ細かい支援や授業改善に活かす。 ・教育委員会の視点：現状を客観的把握、教授法・学習法の創出、今後の施策

教育DX：デジタル技術とデータを活用して、
知見の共有と新たな教育価値の創造を目指す。

- ・「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（R3.1月文教審答申）：「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるためにICTや先端技術は必要不可欠
- ・「教育データの利活用に関する有識者会議（R2.6月文科省設置）」：教育データの標準化やスタディ・ログの活用等、教育データに係る取組を加速
- ・オンライン学習システム（MEXCBT）の構築

教育データ利活用推進協議会主な論点

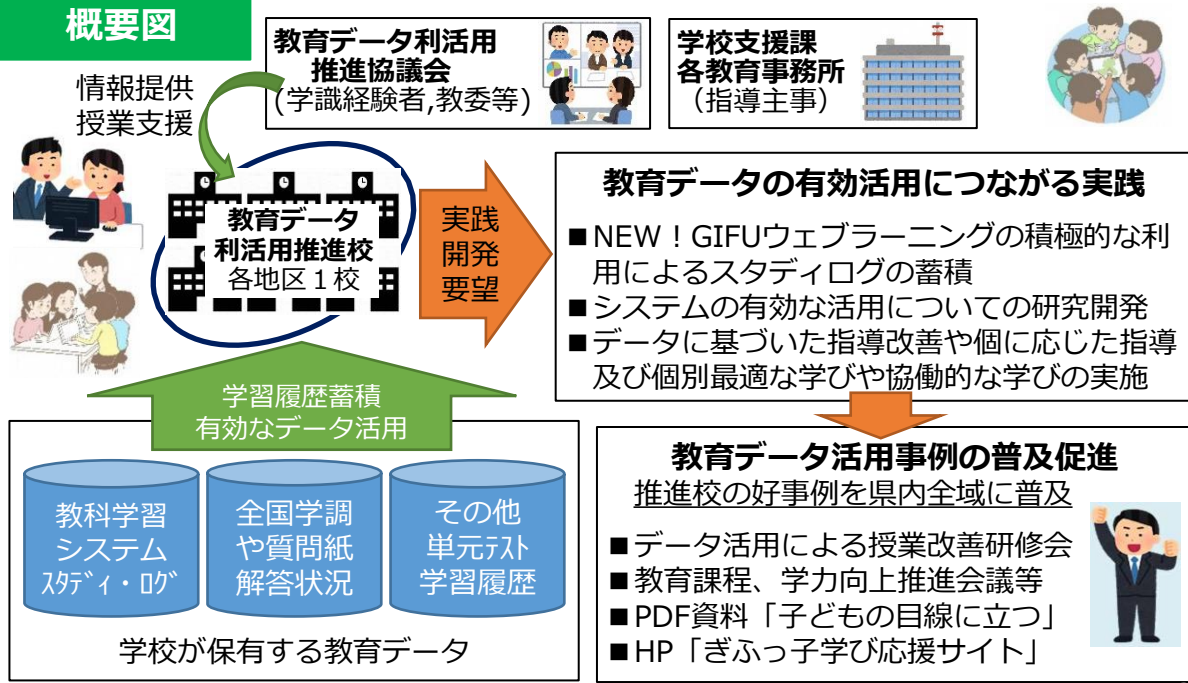
論点① 教育データの精選と分析方法の検討

- ・学校が保有する教育データの中から、有効な分析が可能なデータを精選し、統一のデータ様式で学習記録・学習履歴を蓄積する。
- ・現存するシステムを活用して実現可能かつ有効なデータ分析について検討する。

論点② 新たな知見の創出と県施策への反映

- ・蓄積された教育データの分析結果に基づく、教員の指導改善や児童生徒自身が自己調整できる学び方について検討する。
- ・本事業で効果が明らかになった教育データの活用について、県内全域に普及促進する。


概要図



県内小学生のスタディ・ログの活用により、 一人一人にとって最適で自立的な学習の機会を提供し、 全ての児童が学ぶ意義や楽しさを実感する教育の実現



 Te-Comp@ss
(株)文溪堂

 GIFU Webラーニング
シャープマーケティングジャパン(株)
ビジネスソリューション社中部支店

岐阜県教育委員会事務局
学校支援課

